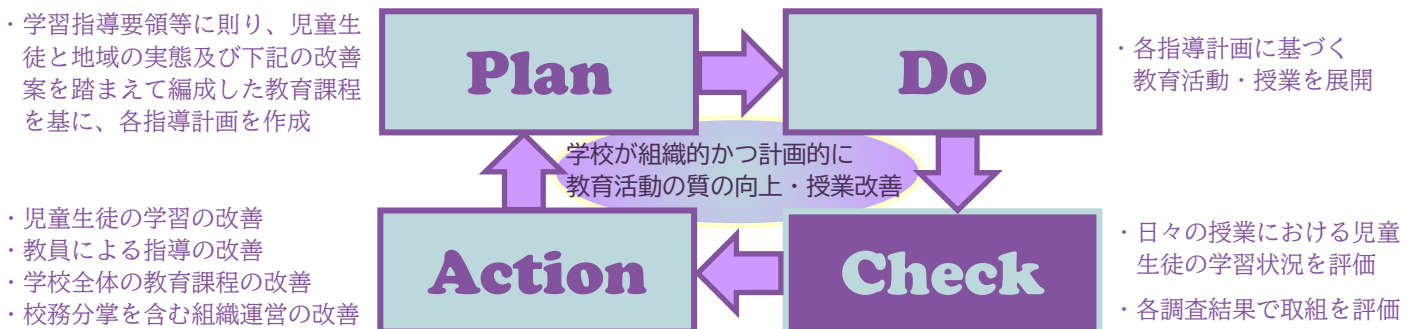


この1年間の自校の取組の成果と課題が 質問紙調査の結果に表れています。



昨年度の全国学力・学習状況調査以降の1年間に、自校で力を入れて取り組んできたことは何ですか。その取組の成果は、各教科の正答率の他、児童生徒の質問紙調査の結果にも表れているはずです。自校で力を入れてきた取組の成果が表れるだろう設問は、どれですか。昨年度の割合に比べて何%くらい上昇しているだろうと予想されていましたか。実際の結果は、その予想を上回っていましたか、それとも……。質問紙調査の結果は、今後1年間の指導の内容や方法を改善するための、貴重な評価情報の一つです。

1 教育活動の質の向上や授業改善の成果を評価できる、待望の調査結果です。



Point

👉 信頼度の高いデータです。

質問紙調査の結果は、当該学年児童生徒の学習と生活状況の特徴や傾向を読み取るために役立つデータです。設問は、文部科学省で内容も分量も十分に吟味されたものですし、児童生徒は、十分な時間をかけて真剣に回答しています。また、県や国全体のデータ、昨年度までの自校のデータと比較して検討することもできます。目の前の児童生徒の実際の姿の観察と共に、各調査結果も十分に活用し、これまでの「Do」や「Plan」の評価に大いに役立てましょう。

Point

👉 質問に込められた願いを読み解きましょう。

教科の学力調査と同様に質問紙調査にも、学習指導要領や生徒指導提要等で述べられている、「このような児童生徒を育成したい」という願いが込められている質問が多くあります。毎年継続的に設定されている質問が、目指すべき中心的な方向性を示している一方で、今年度新たに設定された質問は、新たに注目すべき重点が示されたものです。例えば、今年度新たに設定された「(6) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。」の質問に注目し、自校の教師一人一人が、児童生徒に「分かるまで」教えているかどうか、振り返ってみることが大切です。

Point

👉 データを意図的・選択的に活用しましょう。

小6児童への約60の、中3生徒への約70の質問は、子ども理解のためにはどれも貴重なデータですが、PDCAサイクルの「C」のための評価情報として見るなら、いくつかの特定の質問に注目することが重要です。つまり、これまでに自校で進めてきた取組の成果が、どの質問の回答に表れるかをあらかじめ決め出しておくわけです。それらの回答の「当てはまる」の割合が、昨年度よりも大きくなったのか、期待していた割合より大きかったのか、あるいは県全体の割合と比べてどうだったのかを確認し、それに基づいてこれまでの「Do」や「Plan」を客観的に評価し、「Action」に生かしましょう。

Point

👉 来年度の調査結果をポジティブに待ちましょう。

「Action」によって強化・改善された「新Plan」に基づいて「新Do」が始まります。その成果は、来年度の質問紙調査に必ず反映されます。小6、中3はもちろん、来年度調査対象となる小5、中2を含む全校の児童生徒のために、全職員で情報共有して、学校全体で取り組んでいきましょう。

2 注目していた質問の回答結果から、自校の取組の状況を評価しましょう。



自校で意図的に力を入れて取り組んできたことは何ですか。
その取組の成果が表れるだろうと注目していた質問、表れてほしいと期待していた質問はどれですか。
例えば、次に挙げる質問に表れているはずですが、いかがでしょうか。

① 「主体的な学び」の視点から授業改善に取り組んできた学校

校種	番号	質問事項	「1. 当てはまる」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	33	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	30.5	31.8			No.39
中	37		30.4	39.0			No.39

校種	番号	質問事項	「1. 当てはまる」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	37	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	31.0	31.8			No.44
中	41		23.1	28.6			No.44

② 「対話的な学び」の視点から授業改善に取り組んできた学校

校種	番号	質問事項	「1. 当てはまる」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	36	学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	38.6	38.7			No.43
中	40		34.3	39.5			No.43

③ 「深い学び」の視点から授業改善に取り組んできた学校

校種	番号	質問事項	「1. 当てはまる」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	34	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	28.3	27.7			No.40
中	38		22.7	28.8			No.40

④ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に取り組んできた学校

校種	番号	質問事項	「1. 当てはまる」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	35	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。	37.3	39.6			No.42
中	39		22.6	27.5			No.42

校種	番号	質問事項	「1. 当てはまる」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	32.0	30.4			No.17
中	13		32.2	32.7			No.17

⑤ 「ICT 機器の効果的な活用」に取り組んできた学校

校種	番号	質問事項	「1. 役に立つと思う」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	30	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは、勉強の役に立つと思いますか。	67.5	68.9			No.36
中	34		58.7	66.6			No.36

⑥ 「指導と評価の一体化」の実現に取り組んできた学校

校種	番号	質問事項	「1. 当てはまる」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	60.9	64.6			—
中	6		43.7	52.9			—

校種	番号	質問事項	「1. 当てはまる」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	45	国語の授業の内容はよく分かりますか。	40.4	39.1			No.51
中	49		30.4	30.0			No.51
小	53	算数【数学】の授業の内容はよく分かりますか。	45.2	45.6			No.55
中	57		33.9	38.3			No.55
中	61	英語の授業の内容はよく分かりますか。	28.0	29.2			—

⑦ 組織的かつ計画的に「Action → Plan → Do」に取り組んできた全ての学校

校種	番号	質問事項	「1. 当てはまる」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	43	国語の勉強は好きですか。	23.8	20.3			No.49
中	47		23.6	20.3			No.49
小	51	算数【数学】の勉強は好きですか。	34.8	32.5			No.53
中	55		29.1	31.3			No.53
小	55	英語の勉強は好きですか。	38.6	35.9			—
中	59		25.2	24.7			—

校種	番号	質問事項	「1. 当てはまる」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	38	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。	39.0	35.8			—
中	42		24.0	26.6			—

校種	番号	質問事項	「1. よくしている」と回答した割合【%】				
			全国 (今年度)	岐阜県 (今年度)	自校 (今年度)	自校 (昨年度)	昨年度の 質問番号
小	16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（学校の授業の予習や復習を含む。）	28.7	33.4			No.20
中	16		15.3	18.7			No.20

3 来年度の質問調査※1 に向けて、自校で注目する質問を決め出しましょう。

※1 令和6年度は、1人1台端末を用いて質問に回答します。従来の質問紙調査と区別して「質問調査」と称します。

令和6年度も、4月18日（木）に全国学力・学習状況調査があり、質問調査も実施予定です。

さあ、来年度の質問調査のうち、どの質問に注目しますか。

今年度の実績に基づいて、目標を何%（何人）に設定しますか。

その目標値に近づくため、Action → Plan → Do の流れの中で、何を重視していきますか。

ここでは、思うままに書き出してみよう。

そして、各職員が書き出したことを取りまとめ、今後の学習指導部会、学年部会、教科部会、研究推進委員会等で論点とし、Action → Plan → Do を向上させ、更なる授業改善に学校全体で取り組みましょう。



質問調査の回答分析には、1)と2)を合わせた「肯定的回答」ではなく、1)の「肯定回答」の割合を用いましょう。

- 1) 当てはまる
- 2) どちらかといえば当てはまる
- 3) どちらかといえば当てはまらない
- 4) 当てはまらない

というのも、2)や3)と回答した児童生徒が1)と回答できるようになる変容をねらって行う指導改善だからです。

4)と回答した児童生徒も同様ですが、実際には個別の特別な援助が必要だと思われます。

番号	質問事項	「1. 当てはまる」の割合／人数	
		自校の → 今年度（実績）	来年度（目標）
		%	%
		人	人



目標値に近づくために、Action → Plan → Do の流れの中で、何を重視しますか。

- <例>
- 学 習 評 価：「単元の指導と評価の計画の作成」 / 「組織的かつ計画的な取組の推進」
 - I C T 活 用：「資質・能力の育成につながる活用」 / 「児童生徒が自発的・選択的に活用」
 - 取組推進の体制：「学年・教科で重点とする取組」 / 「全校共通で重点とする取組」
 - 質問事項を分析：「質問事項を分解して細分化・具体化」 / 「段階的な実施」
 - 他の評価情報：「日々の授業での学習状況の評価」 / 「学校独自の質問紙等による実態把握」
 - 授 業 研 究 会：「研究主題と質問項目との関連性の共通理解」 / 「全校研究会の工夫 ※2」

※2 【全校研究会の工夫について】

指導者の先生が、授業参観後の研究会にて最後に指導・助言をするという従来の形ばかりでなく、より学校のニーズが満たされるように、例えば次のように工夫してみても、いかがでしょうか。

- 指導案だけでなく、全校研究会の進行やゴールについても指導者に相談する。場合によっては、指導者が研究会の話題の中からさらに深めたい協議点を提示するなど、コーディネーター役として参加する。
- 授業を撮影し、LIVEで別室の大型モニターに映し出す。参観者は、別室で大型モニターの映像を見ながら、指導者が同時に行う解説を聞く。指導と評価のポイントや改善点、別の発問例や予想される児童生徒の反応例などの解説を聞いた上で、その後の全校研究会に参加する。
- 校内研究主題に基づく研究内容、児童生徒の学び方や学習集団についてだけでなく、自校のPDCAや決め出した質問事項の目標達成のための取組についても、指導者から指導・助言をもらう。